

DR300シリーズ

ポータブル分析計

ポケット残留塩素計

姿は見えなくても、清潔を支える名脇役“塩素”

水は一見きれいに見えても、私たちの目には見えない細菌やウイルスが含まれている可能性があります。そのまま放置すると、腹痛や感染症などの健康被害を引き起こす恐れがあります。

そこで重要となるのが「塩素」による消毒です。

水の濁度が私たちの目に見える“透明度”を示す指標であるのに対し、残留塩素は目には見えない存在ですが、水の“清潔”を守るために欠かせない要素です。

塩素による消毒、除菌は安全で安心な水づくりの要であり、HACHのDR300ポケット残留塩素計は、こうした塩素の濃度を簡単に測定できる機器です。

「見えない不安」を「見える安心」に変えて安全な水管理をサポートします。

DR300
ポケット残留塩素計

そもそも“塩素”とは？

「塩素」とは、水を消毒するための薬品で、消毒後に少し残っている塩素を「残留塩素」（全塩素）といいます。残留塩素は「遊離塩素」と「結合塩素」の両方を含んだ総称です。

残留塩素（全塩素）＝遊離塩素＋結合塩素

遊離塩素

水中の菌を倒せる“現役バリバリ”の元気な塩素

結合塩素

汚れと戦って力を使い果たした、“お疲れモード”の塩素

目視じゃない、光と試薬で測る正確さ

残留塩素の測定に広く用いられているDPD法（N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン法）は、試薬が塩素と反応して赤紫色に発色するという性質を利用した方法です。

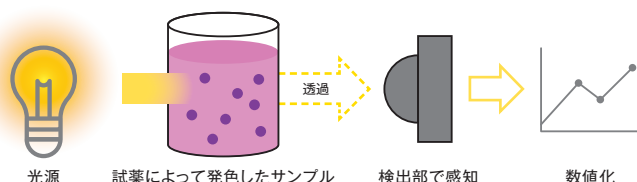
発色の濃さは塩素濃度に比例するため、色の強さをもとに濃度を判定します。

従来の目視による比色法では、色の見え方に個人差があるほか、照明環境や経験の違いによって測定結果にばらつきが生じることもあります。

これに対し、吸光光度計を用いた方法では、発色の強さを数値として測定できるため、より正確かつ再現性の高い結果が得られます。このような特性から、現場で信頼性のある測定を実現する手法として注目されています。



DR300の測定原理



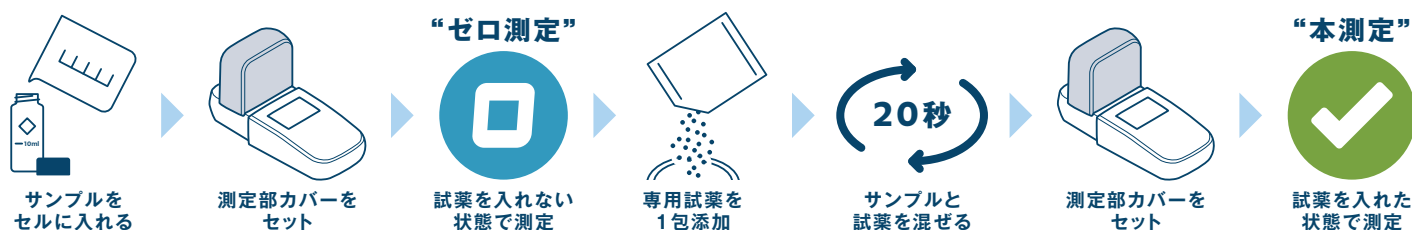
- 1 サンプルに試薬を入れると塩素の量に応じて色が付く＝発色
- 2 機器の中の光源からサンプルセルへ光を当てる
- 3 発色したサンプルがどれだけ光を吸収したか、受光部が感知！
- 4 吸収の度合いから塩素の濃度を計算

測定をもっとシンプルに DR300が選ばれる 3つの強み

残留塩素の測定は、水質管理や衛生管理において欠かせない工程です。HACHポケット残留塩素計は、さまざまな現場や用途に対応できるように設計されており、以下のような課題を解決する特長を備えています。

① 操作性 専門知識がなくてもOK ※ご使用前に、測定手順書を参照ください(当社Webサイトに掲載)

〈遊離塩素(LR)測定例〉



② 信頼性

HACHの専用試薬を用いることで、従来の手分析で生じていたさまざまな手間やバラつきを解消します。

さらに、オプション「スリフトテストディスペンサ」を使用することで、ワンショットで試薬を吐出でき、試薬の飛散を防止できます。



③ 携帯性

軽量・防塵・電池駆動のタフな設計で、どんな現場にも持ち込みやすい頼れる存在です。

測定に必要な器具は計器に標準添付済み。キャリングケースにひとまとめに収納でき、持ち運びも容易です。



幅広いアプリケーションをサポート

ポケット残留塩素計は、遊離塩素または全塩素を測定することができ、幅広い分野でご使用いただいています。

- 水道水・上下水道施設 **遊離塩素**
- プール **遊離塩素**
- 食品工場・給食センター **遊離塩素**
- 病院 **全塩素**
- 温泉・入浴施設 **遊離塩素**

豊富なラインアップ

DR300ポケット水質計シリーズは、残留塩素の他にも各種専用機をラインアップしています。



臭素	りん酸	マンガン	アンモニア性窒素	硝酸性窒素
亜鉛	鉄	二酸化塩素	溶存酸素	モリブデン
オゾン	アルミニウム	モノクロロミン・遊離アンモニア	残留塩素・pH	ABS



HACH 日本総代理店 東亜ディーケーケー株式会社

営業戦略部HACH営業推進課
〒169-8648 東京都新宿区高田馬場1-29-10 TEL.03-3202-0235

[Webサイト] www.toadkk.co.jp
[お問い合わせ] eigyo@toadkk.co.jp

